



2026年8月7日

各 位

会 社 名 乾汽船株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 乾 康之
(コード番号：9308 東証スタンダード)
問 合 せ 先 経理部長 一井 聡
(TEL. 03-5548-8613)

2027年3月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2026年5月13日に公表した2027年3月期（2026年4月1日～2027年3月31日）の連結業績予想および配当予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2027年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値の修正（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間 純利益	1株当たり 中間 純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 21,872	百万円 2,186	百万円 2,085	百万円 1,282	円 銭 50.91
今 回 発 表 予 想 (B)	22,265	2,537	2,745	1,715	68.11
増 減 額 (B - A)	+393	+351	+660	+433	—
増 減 率 (%)	+1.8%	16.1%	+31.7%	+33.8%	—
(ご参考)前期実績 (2026年3月期第2四半期 連結累計期間)	15,692	△71	△132	△9	△0.37

2. 2027年3月期通期連結業績予想値の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 41,570	百万円 4,552	百万円 4,326	百万円 2,914	円 銭 115.72
今 回 発 表 予 想 (B)	43,253	5,649	5,726	3,822	151.78
増 減 額 (B - A)	+1,683	+1,097	+1,400	+908	—
増 減 率 (%)	+4.1%	+24.1%	+32.4%	+31.2%	—
(ご参考)前期実績 (2026年3月期)	33,636	2,158	1,956	833	33.11

3. 業績予想の修正理由

第1四半期連結累計期間の外航海運事業におけるドライバルク船（ハンディサイズ）の市況は、穀物やマイナーバルクの底堅い荷動きに加え、中東情勢の影響等により市況が押し上げられる展開もあり、当初想定を上回る水準で推移いたしました。市況は良好な需給環境の継続が予想されることから、通期においても堅調な推移を見込んでおります。

2027年3月期通期のドライバルク船（ハンディサイズ船）の市況想定を前回予想US\$12,548/day から今回予想US\$13,372/day（差異+US\$824、増減率+6.6%）へ、また為替想定を、直近の為替相場の状況を踏まえ、前回予想¥157.00 対US\$から今回予想¥159.00 対US\$に変更しております。

なお、倉庫・運送事業及び不動産事業は概ね期初想定通りに進捗しております。

4. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前 回 発 表 予 想	円 銭 6.00	円 銭 28.72	円 銭 34.72
今 回 発 表 予 想	6.00	39.53	45.53
当 期 実 績			
（ご参考）前期実績 （2026年3月期）	3.00	6.93	9.93

5. 配当予想の修正理由

今回の業績予想修正に伴い、以下の当社の配当政策における判断基準により、年間配当金（合計）を45.53円に修正しております。

当社は、「事業特性」、「中長期的成長を重視した経営資源の配分」、「財務基盤」の3つのバランスがとれた株主還元策であることを基本として、業績にかかわらず一定水準の配当を安定的に維持する配当政策を行ってまいります。基本となる考え方は、「良いときは笑い、悪いときにも泣かない」です。

業績に応じて、良いとき、悪いときの判断基準および最低配当額を定め、「良いとき」には配当性向の累進により増配し、「悪いとき」にも無配を前提にはいたしません。

判断基準	配当目標計算基準
良いとき	配当性向30～45%程度
基本	配当性向30%程度
悪いとき	年間12円

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上